

## 「多文化共生」を考える研修会2021 開催結果

### 1 趣旨

日頃から外国人県民と接する機会が多い県・市町職員、教員、福祉事務所などのケースワーカー、日本語ボランティアなどを対象に、外国人県民の現状や様々な課題について、共に学び、理解を深めるための研修会を開催することにより、すべての人々が安全で安心して生活できる多文化共生社会の実現を推進する。

### 2 主催

(公財)兵庫県国際交流協会、特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市

### 3 内容

テーマ	時間	内容	講師等
11月4日（木）Zoomによるオンライン開催			
「日本人」と「外国人」の境界	13:30～13:35	主催者あいさつ	(特非)神戸定住外国人支援センター 理事長 金 宣 吉
	13:35～15:00	外国人を作り出した戦後	朴 沙羅(ヘルシンキ大学文学部文化学科講師)
	15:15～16:45	『日本人』とはだれか～『ハーフ』の経験から考える～	下地 ローレンス吉孝(ハワイ大学研究員)
11月7日（日）Zoomによるオンライン開催			
外国にルーツを持つ子どもの教育	13:30～15:00	にほんでいきる～外国からきた子どもたち～	奥山 はるな(毎日新聞取材班)
	15:15～16:45	外国ルーツの子どもと家族にかかわって	小林 普子(NPO法人みんなのおうち代表理事)
11月11日（木）Zoomによるオンライン開催			
外国人との共生に向けての課題	13:30～15:00	ヘイトスピーチと対抗報道	角南 圭祐(共同通信ヘイト問題取材班・広島支局次長)
	15:15～16:45	出入国管理及び難民認定法(入管法)改正をめぐる問題点	指宿 昭一(暁法律事務所 弁護士)
11月14日（日）Zoomによるオンライン開催			
移住者の困難と支える活動	13:30～15:00	困窮するベトナム人への支援と課題	吉水 慈豊(NPO法人日越ともいき支援会代表理事)
	15:15～16:15	ミャンマーの今と難民を生み出す背景	中西 嘉宏(京都大学大学院東南アジア研究所准教授)
	16:15～16:45	留学生支援、ミャンマー関西の取組み	猶原 信男(ミャンマー関西代表)